

草加市

福島県 昭和村

澄んだ星空と蛍を見ることができました！
補助制度に加え、しらかば荘では市民料金
があり、お得に村を楽しむことができました。
(男性 宿泊補助制度利用者)

野鳥の鳴き声が聞けて、野花が
見れてとても気持ちがよかったです！
(女性 春ツアー参加者)

水が冷たくキレイで美味でした。
“人生初”をたくさん体験できて良かった！
(女性 秋ツアー参加者)

広々としている村で、みんな優し
かったので、また絶対行きたいです！
(女性 冬ツアー参加者)

雪中宝探しやソリが体験できて
昭和村が大好きになりました！
(女性 冬ツアー参加者)

10th 姉妹都市提携

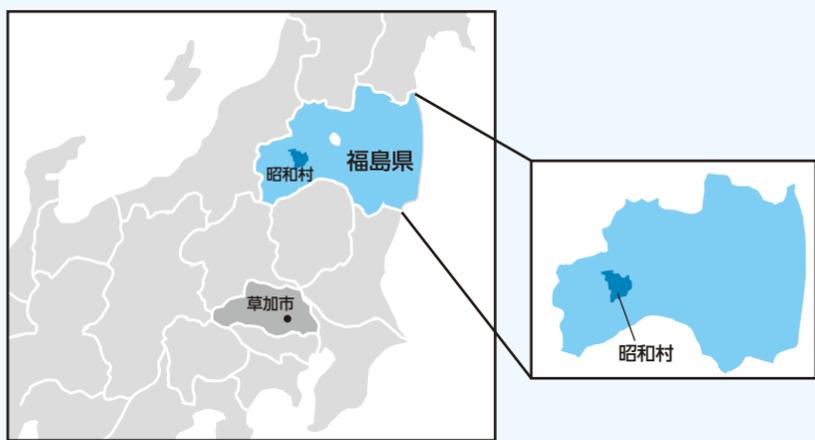


昭和村秋の体験ツアーでサツマイモ掘りに挑戦した草加市民の皆さん

草加市と昭和村は、今年で姉妹都市提携10周年！

草加市と昭和村は、昭和60年の友好交流宣言から永年にわたって住民同士の友好交流を深めてきました。今年、平成22年の姉妹都市提携から10周年。これまでの交流の歴史を振り返りながら、昭和村の魅力をお伝えします。

昭和村ってどんなところ？



■昭和村の概略

昭和村は、福島県大沼郡の南部に位置し、周囲を1000メートル級の山に囲まれた美しい山々で、手つかずの大自然がたくさんあります。

【位置】東緯 139度38分 北緯 37度18分

【面積】209.46km²

【人口】1,232人(令和2年7月1日現在)

■昭和村の名前の由来

1927年(昭和2年)11月23日に、野尻村と大芦村が合併し、昭和村となりました。昭和時代に入って誕生した村であることから、昭和村という名前になったといわれています。

昭和村の特産品

●からむし織



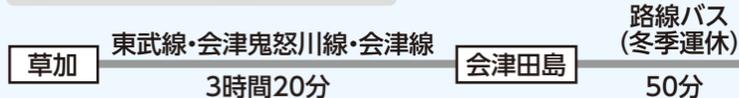
●カスミソウ



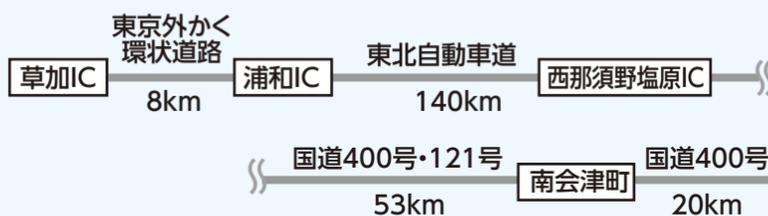
昭和村は、伝統織物の上布の原料となる、「からむし(苧麻)」を栽培している本州唯一の村で、その糸で織ったからむし織が特産品です。現在は、カスミソウ栽培にも力を入れ、その出荷量はなんと夏秋期において全国1位です！

交通のご案内

電車・バス利用の場合

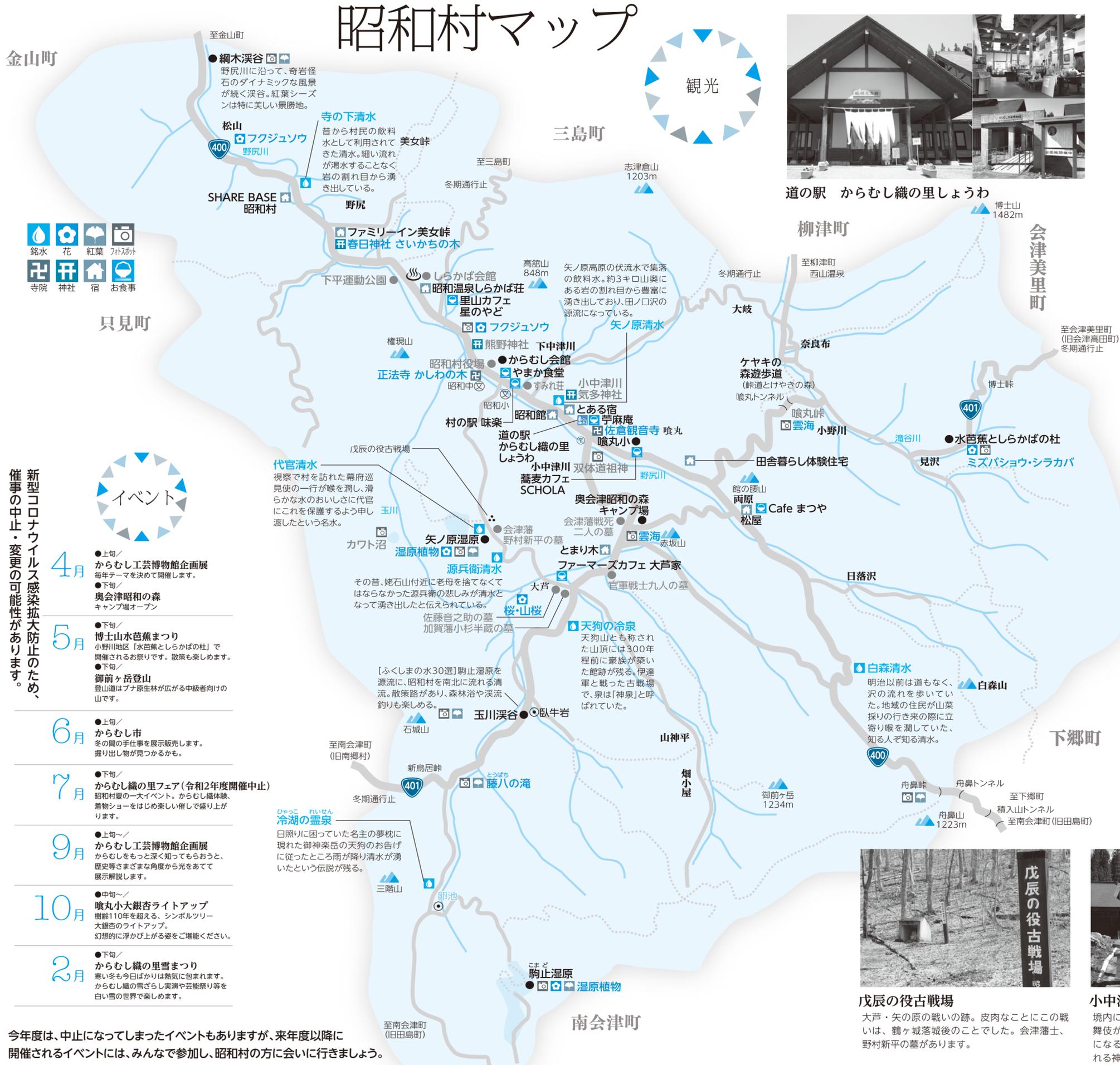


車利用の場合



昭和村

昭和村マップ



道の駅 からむし織の里しょうわ



交流・観光拠点施設「喰丸小」



雲海（昭和の森・喰丸峠）

昭和12年に建築された2階建ての木造校舎「旧喰丸小学校」は、平成30年4月に交流・観光拠点施設「喰丸小」として生まれ変わりました。

施設内には、移住・定住の相談スペースや図書室、音楽室（映画上映設備）各種集会や、展示・イベントの催事など多目的に使える集会室があります。

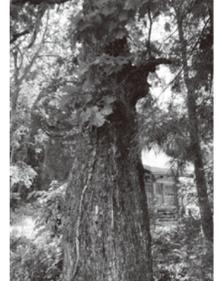
現在は、校庭の中央に位置する、喰丸小を象徴する樹齢120年を超える大銀杏。喰丸小を舞台に撮影された映画『ハーメルン』を契機に地元では、大銀杏を囲んで「イチヨウまつり」が開催され、地元の味わいが味わえます。

フォトスポット

- 雲海（昭和の森・喰丸峠）
- 駒止温泉
- 矢ノ原（湿原・そば畑）
- 玉川渓谷
- 網木渓谷
- 水芭蕉としらかばの杜
- 双体道祖神
- 舟鼻峠
- 虫・星空



春日神社
さいかちの木
中向春日神社境内にある村の天然記念物。樹齢320年。



正法寺
かしの木
下中津川正法寺の境内にある村の天然記念物。樹齢370年。



双体道祖神
道祖神は境を守り悪霊の侵入を防ぐ神。しかし時代が進むにつれ行路の神、旅の安全、出産、幼児加護、縁結び、夫婦円満の神としての性格をもつようになったと言われています。



戊辰の役古戦場
大芦・矢の原の戦いの跡。皮肉なことにこの戦いは、鶴ヶ城落城後のことでした。会津藩士、野村新平の墓があります。



小中津川気多神社
境内に舞台を擁し、こけら落としには檜枝岐歌舞伎が上演された小中津川地区の神社です。夏になるとお祭りが開催され、地区住民から愛される神社です。



慈眼山観音寺
元和2年（1616）年創建。御蔵入三十三観音の七番札所としてよく知られています。平成28年度日本遺産に認定。

- ### 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、催事の中止・変更の可能性がります。
- ## イベント
- 4月**
 - 上旬／からむし工芸博物館企画展 毎年テーマを決めて開催します。
 - 下旬／奥会津昭和の森 キャンプ場オープン
 - 5月**
 - 下旬／博士山水芭蕉まつり 小野川地区「水芭蕉としらかばの杜」で開催されるお祭りです。散策も楽しめます。
 - 下旬／御前ヶ岳登山 登山道はブナ原生林が広がる中級者向けの山です。
 - 6月**
 - 上旬／からむし市 冬の間の手仕事を展示販売します。掘り出し物が見つかるかも。
 - 7月**
 - 下旬／からむし織の里フェア（令和2年度開催中止） 昭和村盟の一大イベント。からむし織体験、着物ショーをはじめ楽しい催しで盛り上げられます。
 - 9月**
 - 上旬～ 中旬～ 御前ヶ岳登山 日照りに困っていた名主の夢枕に現れた御神楽岳の天狗のお告げに従ったところ雨が降り清水が湧いたという伝説が残る。
 - 10月**
 - 中旬～ 喰丸小大銀杏ライトアップ 樹齢110年を超える、シンボルツリー大銀杏のライトアップ。幻想的に浮かび上がる姿をご堪能ください。
 - 2月**
 - 下旬／からむし織の里雪まつり 寒い冬も今日ばかりは熱気に包まれます。からむし織の雪ざらし実演や芸能祭り等を白い雪の世界で楽しめます。

今年度は、中止になってしまったイベントもありますが、来年度以降に開催されるイベントには、みんなで参加し、昭和村の方に会いに行きましょう。

姉妹都市交流のあゆみ

●年表

昭和56年(1981年)

当時の村長が草加市を訪れ、交流を申し出たことをきっかけに、スポーツ少年団や身体障がい者の団体などによる市民レベルでの交流が行われました。

昭和60年(1985年)

友好と親善の絆を強めようと、昭和60年(1985年)5月30日に「友好交流宣言」を調印しました。

平成22年(2010年)

25年間にわたり進めてきた友好交流をさらに親密なものとするため、平成22年(2010年)7月17日に、昭和村からむし織の里フェアで「姉妹都市提携」を行うとともに、「災害時における相互応援に関する協定」を交わしました。

平成27年(2015年)

友好交流宣言から30年を迎えたことから、平成27年(2015年)7月18日に「姉妹都市交流推進宣言」を交わし、更なる協調発展のため、交流を充実させていくことを確認しました。

令和2年(2020年)

姉妹都市提携から10周年！
両市村の交流を更に深めるため共同で記念品を制作するとともに、交流推進宣言書に調印する予定です。



友好交流宣言に調印(昭和60年)



姉妹都市締結調印式(平成22年)



姉妹都市交流推進宣言(平成27年)

昭和村と草加市との交流

@昭和村

年間延べ約1,000人の草加市民が、四季折々に様々な表情を見せる昭和村で、豊かな大自然を体験しています。

体験ツアー

春・秋・冬の計3回開催する1泊2日のバスツアー。
四季折々の昭和村を楽しめます。



からむし織の里フェア

毎年7月に開催される昭和村を代表するイベントで、草加市民を含め多くの人々で賑わいます。



自然教室

草加の小学生が昭和村の自然の中で、通常の学校生活では得難い貴重な体験をしています。



@草加市

昭和村の村民が村の特産品や季節の味覚をたくさん届けてくれます。採れたての山菜、野菜、えごま油(じゅうねん油)などを即売します。

春の味覚フェア

毎年6月上旬に草加駅東口駅前のカーソンプラザで開催。昭和村の新鮮な野菜や山菜汁を堪能できます。



田舎の野菜便

毎年7~11月に開催するイベント。昭和村産の野菜やお米、特産品などを出張販売します。



その他の交流イベント

草加さくら祭り・草加朝顔市・草加宿場まつり・草加ふささら祭りなどのイベントにも出店します。

